

【図面リスト7】 客船・貨客船・小型客船 図面リスト(その7:船番23~25)

リスト作成者(日付):藤村洋・2015/06/28

保存委 番号	サブ ナンバー	船種・船名	本船の要目	船主名	建造造船所	船番	建造時期	図面名称	用途	縮尺	種類	サイズ	数	制作者	備考
52232	2301	貨客船 青葉丸	L:48.05	川崎汽船	川重・泉州	855	初期起工: S20.5.10 K:22.10.2 L:22.12.13 D:23.3.8	一般配置図	完成図	1/100	青	A1	1	川重・泉州	S.23.3.7製図
	2302		B:8.00					線図	計画図	1/50	青	A2x3	1		S.22.1.4製図
	2303		D:3.60					線図改正図・船首楼甲板高さ		1/50	青	A3	1		
	2304		GT:599.22T					線図改正図・船首楼甲板幅		1/50	青	A3	1		
	2305		主機:480IHPx2					排水量等測線	完成図		青	A2x2	1		
	2306		速力:14.36kts					復原力曲線	完成図		青	A4x4P	1		
	2307		客定員:177名					計画重量重心計算書	計画図		青	A4x8P	1		
	2308							完成重心試験成績書	完成図		青	A4x15P	1		Eng.RmのFreeSEffectで15t 固定パラスト
	2309							旋回力試験成績書	完成図		青	A4x5P	1		
	2310							中央横截面図	完成図	1/20	青	A2x1.5	1		S.22.8.17製図
2311		鋼材配置図	完成図	1/20	青	1600x800	1								
注記:本船は、元は川重社内用曳舟として計画されたS.No.681として起工されたが、終戦に伴い工事中止。戦後GHQ方針により国内旅客船を急速整備することとなり、本船を改装することとなった。最大幅部で切断、35Fr. Sp. 分19.25mを挿入延長、甲板室など増設した。この後間もなく泉州工場は閉鎖された。(川重社史より)															
52232	2401	貨客船 東光丸	L:82.26	日本海汽船	名古屋造船	81	K:22.4.23 L:23.5.9 D:23.9.2	General Arrangement	完成図	1/200	青	A2x1.5	1	名古屋造船	1949.5.31 後日浄写?
	2402		B:12.50					船体線図	完成図	1/50	青	A1x2.5	1		
	2403		D:6.30					排水量等測線	完成図		青	A2x1.5	1		S.22.8.29製図
	2404		GT:2089T					クロスカーブ	完成図		青	A3+	1		
	2405		主機:レシプロ					復原力曲線	完成図		青	A3+	1		
	2406		速力:14.95kts					重心トリム計算書	完成図		青	A4x8P	1		
	2407		客定員:50名					諸試験成績書	完成図		青	A4x16P	1		海上公試、荷役、端艇揚 卸、重査
	2408							中央横截面図	計画図	1/25	青	A2x2	1		
	2409							鋼材構造図	完成図	1/100	青	A1x1.5	1		
注記:新潟・小樽航路に就航。要目などは「船舶:21巻1月号の記事より。当時GHQの統制で小型船しか造れなかった。「船舶」1月号に「小型商船について」の座談会記事あり、山県、松本、榊原氏らが語っている。															
52232	2501	小型客船 五十鈴丸 玉川丸	L:29.50	国鉄	水野造船所 広島工場	RN 264 265	K: L: D:S.23.5	玉川丸一般配置図	完成図	1/50	青	A2x1.5	1	水野・広島	
	2502		B:6.00					五十鈴丸一般配置図	完成図	1/50	青	A2x1.5	1		S.23.5.6製図
	2503		D:2.65					五十鈴丸・玉川丸 線図		1/50	青	A3x2.5	1		乾ドックドックにて採寸作成
	2504		GT:					同上 排水量等測線			青	A3+	1		
	2505		主機:D200HP					同上 交叉復原力曲線			青	A3+	1		
	2506		速力:8.0					玉川丸 傾斜試験成績表			青	A4x7P	1		S.23.6.10試験実施
	2507		客定員:300名					玉川丸 旋回圏図			青	A3	1		
	2508							五十鈴丸・玉川丸中央横截面図	完成図	1/25	青	A3+	1		
	2509							同上 鋼材配置図	完成図	1/50	青	A1	1		
注記:元は海軍工廠の魚雷運搬船6728号/29号→国鉄が貰い受けS22.8月・若松宇部間の石炭運搬船に→S23.5水野造船所にて客船に改装→山口県大島航路に就航(古川達郎著「鉄道連絡船100年の航跡」より)															